

## 米軍人による殺人事件について（要請）

平成 20 年 3 月 19 日（水）午後 9 時 20 分ごろ、横須賀市内において、ミサイル巡洋艦カウペンス所属の米軍人による強盗殺人事件が発生しました。

今回の事件は、平成 18 年にキティホーク乗組員による強盗殺人事件が発生して以来の凶悪な犯罪であり、極めて遺憾であるとともに、強い憤りを感じています。

当協議会では、これまでも、米軍人等の事件・事故の防止を図るため、米軍人等への教育訓練の徹底、綱紀肅正等、適切な措置を講じるよう機会あるごとに要請してまいりました。しかし、再三の要請にもかかわらず、平成 18 年の強盗殺人事件以降も、昨年 7 月にはミサイルフリゲート艦ゲアリー乗組員による殺人未遂事件、同じく 12 月には揚陸指揮艦ブルーリッジ乗組員による傷害事件などの非常に悪質な事件が繰り返し発生しております。そして、これらの事件ごとに、また、先般の沖縄県での暴行被疑事件の後も、在日米海軍では事件の再発防止の取組みをしていると聞いておりますが、再びこのような凶悪な事件が発生したことは、在日米軍に対する県民の信頼を著しく損ねるものであり、在日米軍の再発防止策の実効性が疑われているものと考えており、当協議会として、強く抗議するものであります。

貴職におかれましては、こうした問題点を十分認識され、次のことについて、確実に実行されることを強く要請いたします。

- 1 被害者の親族への迅速かつ誠実な対応を行うこと
- 2 これまでの取組みと事件の再発防止策の徹底的な検証を行うこと
- 3 こうした検証結果を踏まえて厳正なる綱紀肅正の徹底と再発防止についての抜本的な対策の強化、徹底を行うこと
- 4 米軍人等の事件・事故防止対策や環境問題について協議するために、日米合同委員会の中に基地を有する地方公共団体の代表者の参加する「地域特別委員会」を設置すること

平成 20 年 4 月 7 日

駐日米国大使	J・トーマス・シーファー	}	殿
在日米軍司令官	エドワード・A・ライス中将		
第七艦隊司令官	W・P・クラウダー中将		
在日米海軍司令官	ジェームズ・D・ケリー少将		
外務大臣	高村正彦		
防衛大臣	石破茂		

神奈川県基地関係縣市連絡協議会

会 長	神奈川県知事	松沢 成文
副会長	横浜市長	中田 宏
副会長	横須賀市長	蒲谷 亮一
副会長	相模原市長	加山 俊夫
	藤沢市長	海老根靖典
	逗子市長	平井 竜一
	大和市長	大木 哲
	海老名市長	内野 優
	座間市長	星野 勝司
	綾瀬市長	笠間城治郎